

救急科に通院中の患者の皆さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者の診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成26年文部科学省・厚生労働省告示第3号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究の概要] 当院では血圧が低い患者に対し、血圧を上げる薬（以下カテコールアミン製剤）の投与を行う場合があります。カテコールアミン製剤は投与を止めた瞬間に血圧に影響がでる大変重要な薬剤です。そのためカテコールアミン製剤の交換時には、カテコールアミン製剤の一定の流量を維持できる交換方法が求められます。救急救命センターにおいてはカテコールアミン製剤の交換において「並列交換」と「クイック交換」の2種類の方法を採用しています。この2種類はどちらも安全なカテコールアミン製剤の交換方法であることがわかっています。今回の研究においては「並列交換」と「クイック交換」による患者様への影響を細かく分析することで、より良いカテコールアミン製剤の交換方法を考察することを目的としております。

[研究課題名] カテコールアミン製剤のシリンジ交換方法が患者の循環動態に与える影響

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 病院長 渥美 達也

[研究責任者名・所属] 岩本 満美 救命救急ナースセンター

[研究代表機関名・研究代表者名・所属]

北海道大学病院 新津 宥太 救命救急ナースセンター

[研究の目的] カテコールアミン製剤のシリンジ交換方法である、クイック交換と並列交換による、患者の循環動態に与える影響を明確にし、カテコールアミン製剤のシリンジ交換方法の標準化に向けたエビデンスを提供する。

[研究の方法]

○対象となる方

2020年4月1日から2022年3月31日までの間に北海道大学病院救急救命センター(旧HCU)に入院し、カテコールアミン製剤が投与された方

○利用するカルテ情報

カルテ情報：年齢、性別、血圧、脈拍数、既往歴、病歴、基礎疾患名、治療内容

[研究実施期間]

実施許可日～2023年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北14条西5丁目 北海道大学病院 救命救急ナースセンター

看護師長 岩本 満美 電話 011-706-6012 FAX 011-706-7378